

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	091										
事務事業名	青少年健全育成活動事業費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	03	事業	02	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課		担当係	青少年係															
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市青少年相談員に関する規則)														

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	地域連携の意識が希薄になっている現在では青少年を取りまく環境も変化している。本事業は、青少年の非行防止と健全育成のため、相談員の活動の充実を目指すものである。なお、さらなる成果の向上には市民参加や地域ボランティアの協力が一層必要とされている。	誰・何を対象に	青少年、各青少年相談員	望ましい状態	相談員による街頭指導の継続と、地域ぐるみで青少年育成が図れる体制の整備
どのような方法・手順で	青少年健全育成と非行防止につなげるため、相談員の資質の向上を図るための研修等を行う。また、生活指導を定期的実施する。				

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	街頭指導活動等参加延べ人数	単位	人	目標値	150	目標年次	2020	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	青少年相談員事業として実施する研修、街頭指導活動等に参加した相談員数を目標とする。
-----	---------------	----	---	-----	-----	------	------	----	-------------------------------------	---

4 事務事業の実績 ㉠

☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度														
	業務名	活動量	活動量	業務名	活動量	活動量	業務名	活動量													
事務事業を構成する主な業務	① 常総市青少年相談員会総会	1回	① 常総市青少年相談員会総会	1回	① 常総市青少年相談員会総会	1回	① 常総市青少年相談員会総会	1回													
	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回	② 第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会	2回													
	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	11回	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	11回	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	10回	③ 定例街頭指導活動、夏休み街頭指導活動、イベント時街頭指導活動	10回													
	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	3回	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	3回	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	4回	④ 「常総市少年の主張大会」実行委員会	4回													
	⑤ サマーキャンプ	1回	⑤ 企画委員会議	1回	⑤ 企画委員会議	1回	⑤ 企画委員会議	1回													
	⑥ 企画委員会議	1回	⑥ 第47回茨城県青少年相談員研修大会	1回	⑥ 第48回茨城県青少年相談員研修大会	1回	⑥ 第48回茨城県青少年相談員研修大会	1回													
	⑦ 平成28年度新任青少年相談員研修会	1回	⑦ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回	⑦ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回	⑦ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回													
	⑧ 第46回茨城県青少年相談員研修大会	1回	⑧		⑧		⑧														
	⑨ 第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会	2回	⑨		⑨		⑨														
	⑩		⑩		⑩		⑩														
	⑪		⑪		⑪		⑪														
	⑫		⑫		⑫		⑫														
目標値に対する実績値	133 人		目標値に対する実績値	118 人		目標値に対する実績値	123 人														
決算額	計	687,264 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	687,264 円	計	611,670 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	611,670 円	計	635,610 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	635,610 円
	(住民一人あたりの行政コスト) 11 円			(住民一人あたりの行政コスト) 10 円			(住民一人あたりの行政コスト) 11 円														

5 担当者評価 ㉡

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	青少年の身近で青少年相談員が活動することにより、青少年の健全育成及び非行防止の一助となっている。
問題点			各地区の相談員の高齢化、後任者がいないことなどが課題である。

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢

☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

安定的に事業を進められており、現行どおりとしたい。

7 実施計画 ㉣

☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
事業内容	・各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 ・常総市青少年相談員会総会の開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 ・定例街頭指導活動を実施予定 ・「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 ・夏休み街頭指導活動を実施予定 ・「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 ・「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 ・「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 ・サマーキャンプを実施予定 ・企画委員会議を開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加	・各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 ・常総市青少年相談員会総会の開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 ・定例街頭指導活動を実施予定 ・「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 ・夏休み街頭指導活動を実施予定 ・「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 ・「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 ・「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 ・企画委員会議を開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加	・各地区青少年相談員街頭指導を実施予定 ・常総市青少年相談員会総会の開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会役員会の開催 ・定例街頭指導活動を実施予定 ・「常総市少年の主張大会」実行委員会の開催 ・夏休み街頭指導活動を実施予定 ・「みつかいどう祇園祭」街頭指導活動を実施予定 ・「石下祇園まつり」街頭指導活動を実施予定 ・「将門まつり」街頭指導活動を実施予定 ・企画委員会議を開催 ・第7ブロック青少年相談員連絡協議会研修会へ参加															
成果指標	指標名	街頭指導活動等参加延べ人数	単位	人	目標値	150	指標名	街頭指導活動等参加延べ人数	単位	人	目標値	150	指標名	街頭指導活動等参加延べ人数	単位	人	目標値	150
予算額	歳出	計			787 千円	歳出	計			593 千円	歳出	計			650 千円			
		特定財源			0 千円	歳入	特定財源			0 千円								
	歳入	一般財源			787 千円	歳入	一般財源			593 千円	歳入	一般財源			650 千円			
		計			787 千円	計			593 千円	計			650 千円					

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額を金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
 地域及び個人の関係性が希薄になりつつある現在、求められている事業である。少子高齢化が進行していく中、ますます人材難となることが予測されるため、人材を幅広く求めるなど、青少年の健全育成に努めること。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

少子高齢化が進行していく中、青少年の健全育成事業には地域の力が不可欠であり、市民の協力を得ながら継続すべき事業である。今後、相談員の後継者不足などの課題についても、解消に向けて努めること。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

事業を継続していくためには、事業内容の見直しも検討する必要があると思われるので、相談員会議の中で審議を進めていく。また、職員の引率指導により実施していたサマーキャンプについては、年々高まる事故発生リスクを回避するため今年度をもって廃止とし、これにかかる職員経費の削減も図る予定である。